

平成23年3月15日

各 位

会社名 フクダ電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 福田 孝太郎
(JASDAQコード6960)

問合せ先
役職・氏名 専務取締役 藤原 潤三
電 話 03-5684-1558

「東北地方太平洋沖地震」の影響に関するお知らせ

3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは、社長を本部長とした『緊急対策本部』をフクダ電子本社に、また被災地域の当社グループ会社に『現地緊急対策室』を設置し、地震発生直後よりお客様とお取引先医療機関を通じて在宅医療サービスをご利用戴いている患者様の安否確認を行っております。

また当社グループ従業員の安否確認及び建物や生産設備の被災状況、各拠点におけるライフラインの整備状況把握などの情報収集に努め、製品の安定供給に向けた各種対策を講じております。現時点の当社グループへの影響に関して 下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 人的被害の状況に関して

震災直後から現時点に至るまでの間 1名の当社グループ会社従業員の安否確認が取れておらず、引続き安否確認を行っております。

また、震災直後に当社グループ会社の『多賀城研究所』に近隣の方々の避難者を含め、199名が孤立致しましたが、3月12日午前 全員無事 脱出致しました。

2. 物的被害の状況に関して

今回の震災の影響を受け、現時点で多賀城研究所が操業を停止しております。

従業員との連絡対応、復旧・再開に向けた『多賀城研究所 緊急対策室』を当社グループ会社のフクダ電子南東北販売 社屋内に設置致しました。

他の販売・サービス・生産拠点は現時点で、今回の震災による被害報告を受けておりません。

3. 緊急対策本部設置に関して

被災地域の当社グループ会社に設置した『現地緊急対策室』と緊密に連携をとり、患者様と取引先医療機関の安否確認、当社グループ従業員及び従業員の家族や各拠点の状況を速やかに把握し、対策を講じております。

また 物資や人道支援を含め、被災地及びお客様に対する支援策を講じております。

4. 今後の見通し

今回の地震による業績への影響は現時点では不明です。

重大な影響が見込まれる場合は速やかに開示致します。

尚、当社は東北地方太平洋沖地震により被災された皆様をご支援するため、2千万円の義援金を決定したほか、現地の支援活動に寄与できるよう、救護マット2,194本、携帯型パルスオキシメータ100台をはじめ、人工呼吸器、生体情報モニタ、AED、酸素濃縮器、酸素ボンベ等を既に被災地へ届けました。

以 上